

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2019.7 vol. 159

第17回 脳卒中市民講座

去る6月2日(日)に鹿児島県医師会館において「みんなで学ぼう!! 脳卒中の予防と治療」と題した脳卒中市民講座を開催いたしました。例年脳卒中予防週間前後のこの時期に開催しております本会も17回目を迎えることが出来ました。本年も(公社)日本脳卒中協会、鹿児島県、鹿児島県医師会、鹿児島市医師会、田辺三菱製薬株式会社、第一三共株式会社の共催で行い、他にも多くの機関、団体にご後援、ご支援を頂きました。

まず田中康博院長の開会挨拶に続き、第一部では「脳卒中の最新情報」と題し、昨年暮れに成立した「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」(脳卒中・循環器病対策基本法)について紹介しました。また脳梗塞急性期治療最前線の話として、血栓回収療法などについて実際の症例も交えて提示するとともに、治療効果をあげるためには早期の受診が重要であることも説明いたしました。

第二部では今回の新たな試みとして、当院で血管内治療も含めた急性期治療を行った患者さんと、そのご家族に登壇いただき、発症前や発症時の状況、対応、更にその後の苦労などについて経験談をお話いただきました。本セッションは井手智子(脳卒中リハビリテーション看護認定看護師)、吉留由希乃(医療ソーシャルワーカー)も交えて対談形式で行いましたが、患者さん、ご家族とも実体験を元に予防の重要性、発症時の早期対応の重要性、周りの方の理解や協力の重要性なども含め本当に熱心にお話し頂きました。

さらに第三部では「脳卒中を予防しよう」と題し、高口剛(脳血管内科医師)が脳卒中予防のための知識について講演、第四部では「防ごう!! 認知症」と題して上別府恵子(認知症看護認定看護師)が認知症予防のための対処法等について、聴講者の方にも予防のためのトレーニングとして身体を動かして頂きながら講演いたしました。参加された方々は脳卒中や認知症の予防には大変関心が高く、非常に熱心に興味深く聴講されていました。最後は村田淳子看護部長が閉会の挨拶で締めくくりました。

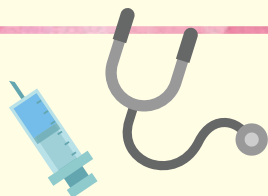
今回は生憎の雨模様にも関わらず400名近い方々に参加いただき、事後のアンケートでは「とてもよかった」「勉強になった」とのお声を頂きました。特に第二部で実際の体験者の方がお話しされた事によって、より深く身近な事として強く心に刻まれ、今後の生活に生かしていきたいとの声を多くお寄せ頂きました。今後も今回の経験やアンケート結果を参考にしつつ引き続き開催していく予定ですので、何卒よろしくお願い致します。

最後に、成功裏に開催することが出来たのは勇気をもって登壇いただいた患者さんにご家族、及び院内各部署、共催、後援各所や、開催にご理解頂きました連携先ご施設のご協力の賜とっております。末筆ながらこの場をお借りして皆様に厚く御礼申し上げます。

(文責: 脳卒中センター長・脳血管内科部長 松岡 秀樹)



看護の日



「看護の日」は看護の心・ケアの心・助けあいの心を国民が認識し21世紀の高齢社会を支えようという趣旨で近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日に制定されました。

業務改善委員会を中心にプロジェクトチームを作り、3月より準備を開始し5月10日に「看護の日」のイベントを開催しました。「看護の日」の催しは毎年行っていますが、今年は「看護の日」について患者さんだけでなく看護部以外の職員にも、私達の看護に対する思いを伝える企画を考えました。

ナイチンゲール像を外来ロビーに設置し、その横に「看護の日」の説明とナイチンゲールについての解説のポスターを掲示しました。さらに各部署紹介のポスターを掲示しました。診察の合間に足を止めてじっくり見ておられる方や、入院中の患者さんやご家族の方など、多くの方々に見ていただけました。また、事前に健康をテーマに患者さんやご家族、職員から川柳を募集したところ、27の作品を投稿していただき掲示しました。病気に立ち向かう強い思いや周りの方への感謝の気持ちなど心に響く作品ばかりでした。今年は認定看護師による

「健康生き生き」をテーマにしたミニ講演会も実施しました。診察や検査の合間に参加され熱心な質問もいただき、これからの日常生活に役立てていただければ幸いです。

「看護の日」のイベントを通して患者さん、ご家族と触れあうことができ、私達の看護に対する思いと姿勢をお伝えする機会となりました。また多職種の方ともイベントを通じて「看護の日」についてお話する機会を得ることができました。

日本は高齢社会となり、ますます看護の果たす役割は大きくなると感じています。今後も鹿児島医療センター看護部は、地域の皆様から求められる質の高い看護サービスの提供にとり組んで参ります。

(文責：看護師長 西岡 恵子)



令和元年度 新人職員宿泊研修

令和元年度の新採用職員を対象とした、“新人職員宿泊研修”を開催しました。今年度の研修は、いちき串木野市にある『シーサイドガーデン ホテルアクシアくしきの』にて令和1年6月21日と22日の2日に渡り実施しました。

研修は、“職場を離れ心身ともにリフレッシュし、新人職員同士の親睦を図る”を目的とし、“新人職員同士、日頃感じている思いを語り共有できる”、“レクリエーションやグループワークを通じてコミュニケーションを図り、他職種とのチームワークづくりができる”と言うことを目標としました。

初日は8時30分に病院を出発し、1時間ほどで会場のホテルに到着しました。開講のあいさつの後、最初にグループワークを実施しました。「新人同士が集まり、日頃感じていることを語ろう」のテーマ。そして「鹿児島医療センターの職員として、今、自分たちにできる事」というテーマで各班で討議を行い、発表まで行いました。

午後は『アサーション研修 ～はつらつと働くための自尊尊重コミュニケーション～』をテーマに、オフィスサウ代表の佐藤靖子先生を講師としてお招きし、特別講演を行いました。90分にわたる長めの講義でしたが、巧みな話術と研修生を巻き込んでの講義スタイルは、時間を感じさせない、他者とのコミュニケーション術の講義となっていました。

夜は食事とともに、懇親会を行いました。その中で余興とし、新人職員が職場を超えたチームを作り、趣向を凝らした出し物を行いました。それぞれが個性を生かし、非常に楽しめるものとなり、とても楽しい時間を過ごせました。

2日目は、城ヶ崎臨床研究部長よりの「新人研修の皆さんへ」。田中院長の「心ある医療人を目指して」と二つの講演を行いました。鹿児島医療センターの職員としてだけでなく、これからの人生において、教訓となる講演だったと思います。

最後のプログラムとして、“鹿児島医療センターの職員として、今、患者さんのためにできること”をテーマにグループワークを行いました。これから長い期間を鹿児島医療センターで努めていくにあたり、あらためて自分に何ができるか考えることができた良い機会であったと思います。

今年度は39名の新人職員の参加となりました。4月から新社会人として働きはじめ、まだまだ気を張っている新人職員にとっては、いいリフレッシュの機会になったことと思います。

私自身も初めての参加でありましたが、新人職員にとっては、普段触れ合うことのない他職種の新人との交流を通し、多くのいい刺激を与えられる研修になったと思います。新人職員の方々は、初めてだらけの1年間を経験し、来年には「先輩職員」となっていくと思います。

この1年間は仕事面でも生活面でも大きな環境の変化があると思いますが、社会人としてさらなる成長と鹿児島医療センターへの貢献を期待しています。

(文責：庶務班長 廣瀬 浩二)



令和元年度 地域医療支援病院運営委員会 開催

令和元年5月29日（水）、鹿児島医療センター大会議室において「地域医療支援病院運営委員会」を開催いたしました。

当院は『地域医療支援病院』の承認を受け、地域医療・救急医療に力を入れて運営を行っております。会議には外部委員5名の方々にご出席いただき、院内委員6名を含めた計11名により意見交換がなされました。事務局より近隣医療機関との紹介や逆紹介の状況、救急車搬送・ドクターヘリ受入件数及び医療従事者向けの研修開催状況などが報告され、委員の方々より当院の運営について有益なご質問やご意見をいただきました。今回、委員の皆様より頂戴いたしました貴重なご意見を参考にして、今後も地域医療支援病院としての役割を果たして参ります。

（文責：経営企画室長 副島 一隆）



外来糖尿病教室定期開催について

当院では、地域の医療機関へ通院中の2型糖尿病の患者さまを対象に、糖尿病・内分泌内科外来におきまして、下記の日程で外来糖尿病教室を定期開催する運びとなりました。

季節ごとにテーマを変えて、より患者さま方の療養生活に役立つ情報を提供・発信して参りたいと存じます。詳しくは当院ホームページをご覧ください。<https://kagomc.hosp.go.jp/>
多くの患者様方のご利用をお待ち申し上げます。

外来糖尿病教室担当者一同

国立病院機構鹿児島医療センター 外来糖尿病教室
6月～8月のテーマ「夏にご用心!!」

日時：毎週水曜日 10:00～10:30
場所：国立病院機構鹿児島医療センター
2階 糖尿病・内分泌内科外来



■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター（心臓病・脳卒中・がん専門施設）

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

代TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

【地域連携】 蘭田・丹後田・西辻・吉永・迫田・中田・椎原・吉留・櫻木・田辺・山之内・山口

【がん相談】 松崎・森・水元・原田・久保・杉本・児玉

地域連携室専用 FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

